

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市有馬・野川生涯学習支援施設	評価対象年度	平成24年度
事業者名	アクティオ株式会社 代表取締役 植村 敏明	評価者	生涯学習支援課長
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日	所管課	宮前区役所生涯学習支援課

2. 事業実績

利用実績	平成24年度 利用実績 ( )内は23年度					<table border="1"> <tr><th colspan="2">地域図書室</th></tr> <tr><td>H24年度</td><td>79,939 冊</td></tr> <tr><td>H23年度</td><td>79,548 冊</td></tr> <tr><td>H22年度</td><td>71,952 冊</td></tr> <tr><th colspan="2">市立図書館貸出</th></tr> <tr><td>H24年度</td><td>27,489 冊</td></tr> <tr><td>H23年度</td><td>26,720 冊</td></tr> <tr><td>H22年度</td><td>26,228 冊</td></tr> </table>	地域図書室		H24年度	79,939 冊	H23年度	79,548 冊	H22年度	71,952 冊	市立図書館貸出		H24年度	27,489 冊	H23年度	26,720 冊	H22年度	26,228 冊
	地域図書室																					
H24年度	79,939 冊																					
H23年度	79,548 冊																					
H22年度	71,952 冊																					
市立図書館貸出																						
H24年度	27,489 冊																					
H23年度	26,720 冊																					
H22年度	26,228 冊																					
	集會室	和室教養室	学習室	グループ室	フリースペース・ギャラリー																	
利用人数(人)	22,860(22,472)	8,527(3,867)	10,056(17,710)	2,934(3,262)	4,193(5,025)																	
利用件数(件)	829(753)	1,041(1,750)	1,346(1,327)	351(475)	340(333)																	
利用率(%)	79.6%(72.5%)	47.0%(45%)	45.5%(46.6%)	16%(32.5%)	24.5%(33%)																	

  

収支実績	収入の部	科目	指定管理予算額 ①	指定管理決算額 ②	増減額(①-②)	10%以上増減の場合の説明																													
	1	指定管理委託料	42,980,000	42,980,000	0																														
2	利用料金収入	3,511,000	4,530,802	(1,019,802)	22年度実績を基に予算化したため																														
3	雑収入(印刷、自販機)	490,000	564,522	(74,522)	印刷機385,359円、自販機179,163円																														
4	その他(受講料等)	2,182,000	2,176,600	5,400																															
5	自主事業売上充当	100,000	0	100,000	自主事業収支211,995円赤字。売上充当せず。																														
	合計		49,263,000	50,251,924	(988,924)																														
収支実績	支出の部	科目	指定管理予算額 ①	指定管理決算額 ②	増減額(①-②)	主な内訳 ( )は予算																													
	運営管理費		49,263,000	50,251,924	(988,924)	<table border="1"> <tr><td>人件費</td><td>24,366,410</td><td>(25,395,000)</td></tr> <tr><td>諸謝金</td><td>1,725,663</td><td>(2,344,000)</td></tr> <tr><td>工具器具備品代</td><td>354,642</td><td>(200,000)</td></tr> <tr><td>消耗品費</td><td>1,008,244</td><td>(1,400,000)</td></tr> <tr><td>水光熱費</td><td>3,010,385</td><td>(3,460,000)</td></tr> <tr><td>委託費</td><td>7,072,732</td><td>(6,833,000)</td></tr> <tr><td>修繕費</td><td>275,835</td><td>(300,000)</td></tr> <tr><td>新聞図書費</td><td>1,447,275</td><td>(1,400,000)</td></tr> <tr><td>租税公課</td><td>1,156,506</td><td>(1,025,000)</td></tr> <tr><td>管理費(負担金)</td><td>6,504,533</td><td>(4,385,000)</td></tr> </table>	人件費	24,366,410	(25,395,000)	諸謝金	1,725,663	(2,344,000)	工具器具備品代	354,642	(200,000)	消耗品費	1,008,244	(1,400,000)	水光熱費	3,010,385	(3,460,000)	委託費	7,072,732	(6,833,000)	修繕費	275,835	(300,000)	新聞図書費	1,447,275	(1,400,000)	租税公課	1,156,506	(1,025,000)	管理費(負担金)	6,504,533
人件費	24,366,410	(25,395,000)																																	
諸謝金	1,725,663	(2,344,000)																																	
工具器具備品代	354,642	(200,000)																																	
消耗品費	1,008,244	(1,400,000)																																	
水光熱費	3,010,385	(3,460,000)																																	
委託費	7,072,732	(6,833,000)																																	
修繕費	275,835	(300,000)																																	
新聞図書費	1,447,275	(1,400,000)																																	
租税公課	1,156,506	(1,025,000)																																	
管理費(負担金)	6,504,533	(4,385,000)																																	

  

サービス向上の取組	<p>①地域図書室のアーノ蔵書にかぎり受付業務(貸出、返却)について平日10時から18時、土日祝日10時から17時を全日9時から20時に延長。②利用者要望に応え朝は8時55分の解錠とし入館させ9時からの部屋の利用が可能となるよう対応。③指定管理初年度であるため、自主事業は採算性以上に新アーノの存在をアピールし地域住民との交流の場として企画し大型イベントを実施。④新規卓球台2台の購入、観葉植物の配置等による市民サービスへの還元。</p>
-----------	---

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、生涯学習支援施設としての役割や目的を果しているか。	5	3(0.6)	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	3(0.6)	3
	利用者満足度	利用者満足度調査を実施し、調査結果を踏まえた満足度向上のための具体的な取組が行われているか。	5	4(0.8)	4
		(評価の理由) 指定管理者として初年度であるが、施設の目的をよく理解し全体的に基本方針どおりの運営がスタートできたと評価する。月例報告において、事業実施状況・利用状況・収支状況が毎月欠かさず所管課へ報告されており、利用者満足度調査等により利用者の学習ニーズを詳細に把握し講座や学級の企画に活かす姿勢や要望、苦情への迅速な対応については高く評価できる。年間を通して初年度にもかかわらず確かな運営状況であったが、利用促進の点で無料施設が前年度から低減傾向にあるため、市民活動育成事業を活用し市民講師やボランティアを育成する等の工夫により施設の利用促進を図られた。			
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無いう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	人員配置	円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.6)	3
	人材育成	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	3(0.6)	3
	(評価の理由) 休館日を中心として効率的に総合管理会社へ委託し、施設の維持管理を的確に実施した。また、個人情報保護については、本社連携による教育研修の下、管理台帳で適切に管理されている。職員配置及びシフト勤務体制は適切な人員と円滑な運営により支障を来す事はなかった。更に職員及びスタッフ研修やミーティングも随時実施されており、安全面からの対策及び消防訓練をはじめ、地域自主防災組織と連携した防災イベントの開催で職員等の危機管理意識を高める取り組みも行っている。				

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯学習振興を図り、市民活動支援のため及び地域図書室としての施設利用提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	生涯学習支援事業	生涯学習支援を図るための学習教室やイベント等事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	指導者・ボランティアの育成	地域学習指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	2(0.4)	2
	活動団体等との連携事業	地域活動団体や他施設と連携して魅力ある事業を展開しているか。	5	3(0.6)	3
	市民活動促進業務	市民活動への参加促進に向けて活動団体の情報収集・提供を行うとともに、市民活動に関する相談体制の充実を図っているか。	5	3(0.6)	3
	市民活動支援体制	市民活動支援コーナーの適正利用に向け、利用団体間で意見調整を行い、市民活動支援を図っているか。	5	3(0.6)	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	広報・広聴活動	施設利用促進及び生涯学習振興を図るための広報・広聴活動が成されているか。	5	4(0.8)	4
(評価の理由) 生涯学習支援を図るための学習や教室、イベントは多彩なメニューにより取り組まれ定員を充足しており概ね的確に実施されたと評価できる。ただし、地域の学習指導者の育成に関しては、市民活動支援事業の立ち上げが年度末となったことから成果が次年度に持ち越された。地域活動団体や他施設との連携については更に強化していく必要がある。市民活動支援コーナーの利用方法は一定の整理が図られたがPRや利用促進策の工夫及び市民活動支援事業での利用検討等が必要と思われる。新アリーノを地域交流の場としサービス向上のために実施した自主事業及び積極的な広報活動と広聴活動は評価できる。					
収支状況	収支計画	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	3(0.6)	3
	適切な金銭管理・会計手続き	収入と預かり金等を区別した管理を行うとともに、事業収支に関して適正な会計処理が行われているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由) 初めてアリーノの指定管理に臨むため平成22年度実績をベースに収入予算としたが、収支とも2%の増額となり指定管理初年度としては概ね適切な執行が行われたと評価できる。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	62	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

施設の維持管理については概ね的確に実施されているが、利用率の向上を更に図るべきである。一部の有料施設では利用率が低迷していること、また2階市民活動支援コーナーの活用が求められる。地域図書室については市立図書館の予約本についても業務範囲になっているため受け渡しについてトラブルの無いよう日常的に宮前図書館と連絡体制を密にとりながら運営されたい。事業については、全体として市民ニーズを把握しながら多様な年代を対象とした事業展開を継続されたい。また、年度末に立ち上げた市民活動育成事業が次年度に本格的に稼働し、地域講師の講座の開設やボランティア活動の育成に貢献することを期待する。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

- ①地域団体、宮前区役所行政機関、区内の公共施設、近隣学校等との連携をさらに強化し、事業連携等を進める中で施設の利用促進策を検討する。
- ②アリーノ蔵書本について、計画的に増冊することによって、利用者要望が高い貸出し冊数を現行の3冊から拡大を検討してもらいたい。
- ③広報紙やチラシなど、対象エリアの拡大をはじめ、高津区や区内の他の公共施設へ向けたアリーノからの情報発信を強化し拡大する。